

2022 年度 授業計画(シラバス)

学 科	看護学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義演習
科目名	小児援助論Ⅲ		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	2年		学期及び曜時限	後期	教室名	2年生教室
担当教員	日下部 麻美	実務経験と その関連資格	看護師として重症心身障がい者病棟・養護学校で勤務していた。			
《授業科目における学習内容》						
<p>小児期にみられる代表的な健康障害を持つ子どもの看護について、小児各期の発達の特徴をふまえて学習する。また、既習の基礎的知識を用いて健康障害をもつ子どもとその家族の看護過程の展開について学ぶ。</p> <p>1. 健康障害のある子どもと家族の特徴を理解し、看護の役割が理解できる。 2. 事例を通して看護過程の展開ができる。</p>						
《成績評価の方法と基準》						
<p>定期試験 60% (前半の内容) レポート提出 40% (後半の内容) ※詳細は第1回授業で提示します。</p>						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
<p>教科書: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[2] 小児臨床看護各論, 医学書院(第6～19章) 参考書: 系統看護学講座 専門分野Ⅱ 小児看護学[1] 小児看護学概論 小児臨床看護総論, 医学書院</p>						
《授業外における学習方法》						
<p>(前半) 基本的には、授業の最後に次回の子習プリントを配布しますので、教科書を参考にして空欄を埋めてから授業に臨んでください。 (後半) 個人ワークが主体となります。計画的に進めていけるようがんばりましょう。</p>						
《履修に当たっての留意点》						
<p>後半は看護過程の展開演習を個人ワークで行います。 レポートの最終提出時にはこれまでの小児看護学領域(病態と治療を含む)の授業資料をファイル提出してもらいます。</p>						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	授業の内容が理解できる 感染症の子どもの看護について述べるができる。		教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習: シラバスを読み、教科書の範囲を確認する(30分) 事後学習: 発表準備(30～60分)	
	各コマにおける授業予定	講義概要、授業の進め方 健康障害のある子どもの看護①: 感染症と看護				
第2回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	呼吸器疾患の子どもの看護について述べるができる。		教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習: 各論第6・7章を参考に予習プリントをまとめる(30分) 事後学習: 授業の復習(30分)	
	各コマにおける授業予定	健康障害のある子どもの看護②: 呼吸器疾患と看護				
第3回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	循環器疾患の子どもの看護について述べるができる。		教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習: 各論第8章を参考に予習プリントをまとめる(30分) 事後学習: 授業の復習(30分)	
	各コマにおける授業予定	健康障害のある子どもの看護③: 循環器疾患と看護				
第4回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	消化器疾患、悪性新生物の子どもの看護について述べるができる。		教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習: 各論第9・11章を参考に予習プリントをまとめる(30分) 事後学習: 授業の復習(30分)	
	各コマにおける授業予定	健康障害のある子どもの看護④: 消化器疾患と看護 健康障害のある子どもの看護⑤: 悪性新生物と看護				
第5回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	腎・泌尿器、神経疾患の子どもの看護について述べるができる。		教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習: 各論第12・13章を参考に予習プリントをまとめる(30分) 事後学習: 授業の復習(30分)	
	各コマにおける授業予定	健康障害のある子どもの看護⑥: 腎・泌尿器疾患と看護 健康障害のある子どもの看護⑦: 神経疾患と看護				

授業の方法		内 容	使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	運動器疾患、耳鼻咽喉科疾患の子どもの看護について述べる ことができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:各論第14・17章を参考に予習プリントをまとめる(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
	各コマにおける授業予定	健康障害のある子どもの看護⑧:運動器疾患と看護 健康障害のある子どもの看護⑨:耳鼻咽喉科疾患と看護		
第7回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	精神疾患、事故・外傷の子どもの看護について述べる ことができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン スピーカー	事前学習:各論第18・19章を参考に予習プリントをまとめる(30分) 事後学習:授業の復習(30分)
	各コマにおける授業予定	健康障害のある子どもの看護⑩:精神疾患と看護 健康障害のある子どもの看護⑪:事故・外傷と看護		
第8回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	小児領域の看護過程の展開について概要がわかる。	教科書 配布資料	事前学習:事例検討に必要な学習(30分) 事後学習:事例検討に必要な学習(30分)
	各コマにおける授業予定	看護過程の展開① 小児看護の看護を展開すること、事例紹介		
第9回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	成長発達段階の理解について記述することができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:事例検討に必要な学習(30分) 事後学習:記録用紙「成長発達段階の理解」の記入(30分)
	各コマにおける授業予定	看護過程の展開② 成長発達段階の理解		
第10回	演習形式 授業を通じての到達目標	成長発達段階の理解について記述することができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:記録用紙「成長発達段階の理解」の記入(30分) 事後学習:記録用紙「成長発達段階の理解」の記入(30分)
	各コマにおける授業予定	看護過程の展開② 成長発達段階の理解		
第11回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	情報収集と情報の解釈について記述することができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:記録用紙「情報収集と情報の解釈」の記入(30分) 事後学習:記録用紙「情報収集と情報の解釈」の記入(30分)
	各コマにおける授業予定	看護過程の展開③ 情報収集と情報の解釈		
第12回	演習形式 授業を通じての到達目標	情報収集と情報の解釈について記述することができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:記録用紙「情報収集と情報の解釈」の記入(30分) 事後学習:記録用紙「情報収集と情報の解釈」の記入(30分)
	各コマにおける授業予定	看護過程の展開③ 情報収集と情報の解釈		
第13回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	関連図について記述することができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン 実物投影機	事前学習:記録用紙「関連図」の記入(30分) 事後学習:記録用紙「関連図」の記入(30分)
	各コマにおける授業予定	看護過程の展開④ 関連図		
第14回	演習形式 授業を通じての到達目標	関連図、日々の記録について記述することができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン 実物投影機	事前学習:記録用紙「関連図」の記入(30分) 事後学習:記録用紙「日々の記録」の記入(30分)
	各コマにおける授業予定	看護過程の展開④ 関連図 看護過程の展開⑤ 日々の記録(保育所実習)		
第15回	講義演習形式 授業を通じての到達目標	多職種連携や継続看護の視点で考えることができる。 既習した内容を想起することができる。	教科書 配布資料 パソコン プロジェクター スクリーン	事前学習:記録用紙「日々の記録」の記入(30分) 事後学習:記録用紙「保健医療福祉チームにおける小児看護の役割」の記入(30分)
	各コマにおける授業予定	看護過程の展開⑥:保健医療福祉チームにおける小児看護の役割 まとめ		